

Syllabus Id	syl.-052088
Subject Id	sub-0520745
作成年月日	5117
授業科目名	選択英語(国際理解) (Cross-cultural Education)
担当教員名	佐藤静枝
対象クラス	全学科5年生
単位数	2高専単位
必修/選択	選択
開講時期	通年(H.17)
授業区分	語学
授業形態	講義
実施場所	選択教室

授業の概要(本教科の工学的、社会的あるいは産業的意味)

5年「国際理解」の「選択英語」は2単位のうち1単位は外国人講師による「英会話」であるが、他の1時間は日本人教師による授業である。最終学年であり学生の卒業後のニーズに配慮して、5年間のまとめになるような授業を目指す。外国人による授業が英会話であるので、この講座は英文の理解、文の構成に重点を置いて進める。

準備学習(この授業を受講するときに前提となる知識)

総合英語、英語W、英語C

学習・教育目標	Weight	目標
	A	工学倫理の自覚と多面的考察力の養成
	B	社会要請に応えられる工学基礎学力の養成
	C	工学専門知識の創造的活用能力の養成
	D	国際的な受信・発信能力の養成
E	産業現場における実務への対応能力と、自覚的に自己研鑽を継続できる能力	

D:英文の理解を主要な目標として、演習中心に学習活動を進める。その間、文構成、文法・語法の理解、語彙の拡充も目指す。英文が平明なので、将来専門的な英文を書く時にも参考になると思われる。

学習・教育目標の達成度検査

1. 該当する学習・教育目標についての達成度検査を、年度末の目標達成度試験を持って行う。
2. プログラム教科目の修得と、目標達成度試験の合格を持って当該する学習・教育目標の達成とする。
3. 目標達成度試験の実施要領は別に定める。

授業目標

授業計画 (プログラム授業は原則としてプログラム教員が自由に参観できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)

回	メインテーマ	サブテーマ	参観
第1回	前期オリエンテーション	学習・教育目標、授業概要・目標、スケジュール、評価方法と基準、等の説明	
第2回	1. Natotechnology		
第3回	1. Natotechnology		
第4回	2. Robots		
第5回	2. Robots		
第6回	3. Cloning		
第7回	3. Cloning		
第8回	定期試験		
第9回	4. Global Warming		
第10回	4. Global Warming		
第11回	5. Genetically Modified		
第12回	5. Genetically Modified		
第13回	6. The Dioxin Capital of the World		
第14回	6. The Dioxin Capital of the World		
第15回	前期期末試験		×
第16回	後期オリエンテーション	学習・教育目標、授業概要・目標、スケジュール、評価方法と基準、等の説明	
第17回	7. The World Water Crisis		
第18回	7. The World Water Crisis		
第19回	7. The World Water Crisis		
第20回	8. Fewer and Fewer Species		
第21回	8. Fewer and Fewer Species		
第22回	8. Fewer and Fewer Species		
第23回	8. Fewer and Fewer Species		
第24回	9. Pandemics		

第25回	9. Pandemics		
第26回	9. Pandemics		
第27回	10. Space and Beyond		
第28回	10. Space and Beyond		
第29回	10. Space and Beyond		
第30回	後期末試験		x
課題			
出典:教科書章末問題/ハンドアウトとして授業終了時に配布etc. 提出期限:出題した次の週 提出場所:授業開始直後の教室、 オフィスアワー:授業実施日の昼休み			
評価方法と基準			
評価方法: 定期試験の平均成績を75%、授業への積極姿勢、出席状況等を25%として評価する。			
教科書等	"Progress in Our World --- Technology, the Environment and Society" (by Paul H. Allum & Saburo Yamamura)		
先修科目	総合英語、英語W、英語C		
授業アンケートへの対応			
備考	1.試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。 2.授業参観されるプログラム教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。		